

1 課題を抱える業務の内容

水道管路については、経過年数だけでなく、管体の老朽具合等を踏まえ、計画的に更新を進めていく必要があります。しかし、一般的な水道管路の管内調査は、断水を伴うものであり、お客さまに多大なご迷惑をおかけしているのが現状です。

2 課題の詳細

不断水で管内調査可能な技術として、挿入式の管内調査ロボットがありますが、大型かつ有線であることから、どこでも調査ができるわけではありません。断水せずに、より簡単に管内の状態を確認できるような技術があれば、効率的な修繕・更新計画を立案することができます。

3 こんな技術を求めています！

- ▶水道管路内を、断水せずに調査・点検できる技術
- ▶水道管路内を自走でき、GPS等で現在位置を捕捉できる技術
(可能であれば、リアルタイムの管内情報を得ることができる技術)

4 技術の導入により代替が期待される業務

より効率的な修繕・更新計画の策定に寄与することが期待されます。

5 事業規模・業務量

当局では、約28,000kmにおよぶ管路やその付属設備等を管理しています。